鏡池だより

第40号
令和元年
（2019年）
7月・8月
・9月号
発行：編集
岡崎別院
輪番　福田 大

これでやっと親父とひとつになれます

「これでやっと親父とひとつになれます」とは、私の師がお父さんを亡くされた時の一言であった。

五月十九日午前二時四十三分、私の親父が九十二歳を一期として亡くなった。私にとっては何歳になっても怖い親父であったが、ここ数年は和やかな親父に接して何か物足りない、寂しい思いでもあった。

強情でひとのことを聞き入れない親父に対して、こんなはずではならない、なってないと確信してきたが、数年前、妻から「あんたお父さんにそっくりやで」と言われ親父とは思いを超えて似てしまっている私が、家族をはじめ、周囲の方々に相当な不快感を与えていた事実に愕然とさせられた。しかし、だからと言ってこの私のこの性格に気づかされても、「分かっちゃいるけどやめれない」のが私の正直なところである。

今から思えば、性格が似ているが故の衝突も多々あったように思う。亡くなってから思わせられることであるが、私自身の進学・就職・結婚の人生の転換期にはいつも親父が寄り添ってくれていた。

今、自宅の中陰壇にある親父の遺影は和やかに右手を挙げている。いつも外出のときは「気を付けて行ってこいよ」という声が私に届いてくる気がする。これから私は苦しい時には「しんどいな」と、悲しい時には「悲しいな」と、嬉しい時には「良かったな、でも調子にのるなよ」と、私と共に生きるはたらきとなって、親父と語らいながら生きていこうと念う。

２０１９年 朝の法話（暁天講座）のご案内

本年度も当院にて朝の法話（暁天講座）を厳修いたします。三日間にわたり早朝から各講師に御法話いただきます。どうぞお誘い合わせの上、ご聴聞いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

●７月２５日（木）午前６時４５分～８時
講師　佐賀枝 夏文 師（大谷大学名誉教授）
　講題　「大いなる「はたらき」に導かれて歩む道」
●７月２６日（金）午前６時４５分～８時
講師　楠 信生 師（教学研究所所長）
　講題　「むなしく生死にとどまることなし」
●７月２７日（土）午前６時４５分～８時
講師　黒萩 昌 師（北海道 法誓寺住職）
　講題　「道について -救われつつあるもの-」

※三日間ともパンとコーヒーを用意してお待ちしております。

**朝のすがすがしい時に
皆さんでご聴聞下さい
職員が皆さんを
お待ちしております**

〈七月～九月の法座案内〉

○七月三日（水）十四時～　鏡池のつどい　輪番
○八月三日（土）十四時～　輪番
○九月三日（火）十四時～　輪番
○七月十三日（土）九時半～　味読正信偈　輪番
○九月十三日（金）九時半～　輪番
○八月二十三日（金）九時半～　歎異抄を読む　列座
○七月二十五日（木）　暁天講座　佐賀枝 夏文師
○七月二十六日（金）　楠 信生師
○七月二十七日（土）　黒萩 昌師
＊暁天講座詳細については一、二頁目をご覧ください。
○八月十三日（火）九時半～　盂蘭盆会　大阪教区即念寺住職 洲﨑 善範師
「御荘厳に学ぶ」
終了後、雑炊の集い
○九月二十三日（月）九時半～　秋季彼岸会　大阪教区恩楽寺 乙部 大信師
「もとの阿弥陀のいのちへ帰せよ」

〈結婚式〉

四月七日
本田 知沙さん
和樹さん

四月二十九日
藤谷 明美さん
朗さん

六月九日
裏谷 遥さん
明幸さん

結婚式予約状況

☆七月二十一日　羽藤・桂家
☆九月八日　有馬・武井家
☆十月五日　某家
☆十一月十七日　某家
☆十二月十五日　広住・片岡家
なお、予約の詳細はＨＰで公開中です。

〈列座のつぶやき〉

暑さの厳しい日があった為、本堂前の蓮が例年より早めに開花しそうです。

昨年の写真を見ていると、暁天講座の頃に咲いていましたので、今年は一か月ほど早まりそうです。暁天講座で毎年パンを注文していたパン屋さんが閉店になった為、最終日にご挨拶に伺った所、午前十時頃の時点でほぼ品切れ状態でした。

暁天講座に合わせて注文していた為、お店が休みの日にも配達してくれるなどしていたので申し訳なかったような寂しいような気持ちでおります。

行事ごとにお弁当を依頼する店、お供えを依頼する店等年間通じて何件かのお店や業者さんにお願いをしていますが、「例年と同じように」「去年と同じでお願いします」と軽く伝えておりますが、いつまでも同じように、という訳にはいかないものだ、ということを改めて痛感しました。

いつまでも同じ、と思っていた私の視力もここ最近めっきり低下して、眼鏡をかけるようになりました。見た目は少し変わりましたが中身については「相変わらず」です。（近藤）

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）
岡 崎 別 院
〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町
26番地
電話・FAX 075-771-2921
http://okazakibetsuin.com
info@okazakibetsuin.com

二〇一九年暁天講座

本年度も七月二十五日～二十七日までの三日間、朝の法話（暁天講座）を開催します。日時・講師などは、前ページに記載したとおりです。

昨年度は三日間合計で四百名以上になる方々に参詣をいただきました。

参詣された方にはパンとコーヒーを用意しています。

暑くなる季節の開催となりますが、昨年同様、多くの方の御参詣をお待ちしております

○各日共に六時四十五分より勤行、後法話。
○開門は午前五時半の予定です。
○早朝とは言え、熱くなることも予想されますので熱中症対策等には十分お気を付けの上、御参詣下さい。

二〇一八年暁天講座の様子

当日の山門

法話を聞く参詣者

当日の本堂前

花まつり・子ども会

参勤法中による法話

本堂での勤行

ブータンに関する質問コーナー

勤行後のレクリエーション

ブータン料理店の方による調理

書院での食事

四月十四日、別院本堂にて花まつりが行われた。

当初は山城第二組善正寺様との繋がりで、ブータンより僧侶が参加される予定であったが、日程の都合上不参加となった。

例年は別院職員含め三名での勤行であったが、本年はいつもと異なり山城第二組願隆寺前住職はじめ組内住職や別院輪番等合計九名での勤行となった。

勤行後、参勤法中それぞれが法話を行った。その後、子ども会にて料理を提供していただくブータン料理店の方々より、ブータンという国の紹介をしてもらい、参加者からのブータンに対する質問などを受け付ける時間を設けた。

花まつりの後、子ども会として本堂にてのレクリエーションを行ったあと、書院に移動して、参加者全員でブータン料理を頂いた。＊当日はスタッフ始め、善正寺様ご家族様にも多大なご協力を頂きました。ありがとうございました。

都草清掃奉仕

境内での作業

本堂に集まる参加者

五月十五日、NPO法人都草による境内の清掃奉仕が行われた。

晴天に恵まれた中、参道付近の草むしりや枯葉の清掃等にご協力いただいた。

作業後は本堂内にて輪番より別院の沿革などの説明があった。

春季彼岸会・永代経法要

谷大輔師

法話を聞く参詣者

三月二十三日、当院にて春の彼岸会法要が厳修された。近江第二組良覺寺住職の谷大輔師に「深く生きる」の講題で御法話頂いた。

終了後は、約三十名の参詣者にお斎が配られた。

春彼岸前のおみがき

本堂でのおみがき

三月十七日、春季彼岸会・永代経に向けておみがきが行われた。

ご門徒・三日講員等約十五名が参加された。

作業後には御文学習会があり、書院へ移動し参加者と職員でカレーを一緒に頂いた。

おみがきのご案内

三月十四日に暁天講座前のおみがきを行います。

七月十四日、恒例のミニ法話の終了後は、前回より引き続いてのご門徒・三日講員の御文のミニ学習会を行い、その後、参加者全員でカレーをいただく予定です。

＊ご門徒・三日講員の皆様にはいつも通りご案内を同封致します。ご参加頂ける方は別院までご連絡下さい。

盆参のご案内

ご門徒の皆様へは盆参の希望日を記入するハガキを同封しております。

第一、第二希望日時をご記入の上、ご返信下さい。お参りにお伺い出来る日程が決まりましたら改めて別院よりご案内差し上げます。

＊希望日が重複することもありますので出来る限り希望日は二日ともご記入下さい。

東京宗務出張所法務員研修

阿部　司　氏

三月二十三日～三十日まで東京宗務出張所法務員の研修が行われた。

春季彼岸会に参加頂く等、一週間の間に別院での基本的な業務等を体験頂いた。

南米開教師候補研修

研修生出仕の花まつり
右写真手前より島添氏、横田氏
左写真手前　浦西氏

四月六日～十四日の間、南米開教師候補の三名が別院にて研修を行った。

晨朝勤行より別院での業務・生活を体験頂いた。

期間中には三日講、声明講習などもあり、各種行事にもご参加頂いた。

最終日は花まつり・子ども会があった為、準備や勤行、その他の作業などもお手伝い頂いた。

鏡池だより三九号にて掲載しました「研修生」につきまして氏名に誤りがございました。大変失礼致しました。

「猪本」は誤りで正しくは「楮本（かじもと）」でした。＊正確には木へんに「者」になります。

ここにお詫びして訂正いたします。